

# 提案型協働事業評価シート

資料 1

実施年度	令和 5 年度
事業の名称	こども対話カフェ(こども対象哲学カフェ)
団体名	対話カフェつむぎ
担当課名	教育相談室

## 【推進委員及び庁内委員による総合評価】

結果	協働事業の評価
○	当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。
	ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。
	協働事業として、うまく機能しなかった。
協働事業に関する総評	<p>団体と担当課が、目的を共有し、互いの取り組みを理解しながら、意欲的に年間5回、ファシリテーター研修1回という複数回開催を実施したことは協働事業として評価できます。事業内容については、ゲームでのアイスブレイクや対話後のカフェの時間など、子ども達が楽しみながら継続して参加できるよう工夫した内容となっています。対話の時間については、事業成果からも、相手の意見を尊重し、相手の考えを受けとめ、刺激を受ける参加者の様子から目的に沿った有意義な内容であったことが伺えます。継続参加したお子さんがいることから、人権教育の実践の場としてのみならず、子ども達が安心できる新たな居場所が創出されたことについて、高く評価できます。</p> <p>子どもたちが、互いの違いを認め受け入れ、お互いの人権を尊重できる対話手法を身に着けることは、市や子どもたちが抱える「不登校」「生きづらさ」「いじめ」の問題について、解決の一助になると共に、今後の参加者の生活や人生に良い影響を与えられれます。</p> <p>残念な点は、参加者数が少なかったことです。参加したくてもできない、参加について一歩踏みだせない子ども達について、周知方法や参加方法を工夫し、さらに多くの子ども達に参加してもらえよう事業継続して頂くことを期待します。</p>

